

この女性に聞く
konohitonikiku大日本コンサルタント(株)
北陸支社 技術部
構造保全計画室 係長

吉澤 直子さん

娘の名は思い出の業務

入社18年目。業務は新設橋の計画・設計から既設橋の補修・点検・耐震補強と幅広い。

4年目に初の主担当となった七海(しづみ)2号橋詳細設計業務は「後に生まれた娘に七海(ななみ)と名付けた」ほど思い出深い。

能越道のPC3径間連続T形ラーメン橋設計は示方書改訂過渡期だった上、高橋脚、中空断面、段差フーチングなど初めて目にする構造ばかり。「今までの経験では解決できない問題も多く、部署内で知恵を出し、納得いく成果を作りました。工期間際に会社のPC前で仮眠し作業したこと

が糧になっています」管理技術者として担った北陸地方整備局利賀ダム工事事務所発注「平成25年度利賀ダム付替市道岩淵橋照査及び修正設計業務」でコミュニケーション力を評価され、事務所長表彰を受賞した。「発注者の要望や意図を汲み取り、まとめる力を更に高め、一層頼られる存在に」と抱負。

育児時短中で優先順位付けや残業務の課題解決法の模索は通勤中を活用する。子供と一緒に活動に参加し、気づかざれることも多いといふ。金沢大学土木建設工学科卒業。富山県出身。(阿部清司)



賢島大橋は塗装工が最盛期

三重県志摩建設事務所保全室サミット対策課が進行中の賢島(かしま)の大橋修理工事は、エボガードシステム工法による塗替え塗装が最盛期を迎えている。

同橋は民間開発によつて架橋され、県が約30年前から管理する。主要地方道浜島阿兒線に位置し、英虞湾に架かる橋長153m、有効幅員8・5mの鋼3径間上路式アーチ橋。昭和42年道路橋示方書で設計され、竣工から45年が経過した。サミット対策課は、賢島を中心とする伊勢志摩地域で5月に開催される主要国首脳会議(サミット)前に、美観対策およびLCC低減などに重きを置いた今回の修繕工事を「三重県橋梁長寿化修繕計画」(平成22年12月)より、1年前倒して実施している。

防錆・経済性でエボガード

区、橋面防水工1工区などを予定。塗替え塗装系に、赤錆をマグネット化するエボガードシステムを採用したのは、既存塗膜に鉛装置・支承の取り替えおよび部分補修など1工

トの内容は、塗装塗替え2工区、高欄・伸縮装置・支承の取り替えおよび部分補修など1工

トを前に、美観対策およびウォータージェット削孔研究会が15日に発足する。

同研究会はウォータージェット(WJ)削孔工法の普及および改良に努めると共に、安全で高度な技術を確立することで、WJ業界の社会的地位の向上と会員相互の親睦を図ることを目的とする。

会員は久野製作所、第一カッターエンジニアリング、テクノジェットの4社。会員の経緯は久野製作所が保有するWJ削孔の特許実用新案などを広く活用し会員企業が同一の品質、安全、コストを担保する。

長しているC-S-Nano粒子の種結晶

セメント粒子間で成

る。

長から3種ケレンでの長

期防錆性を企図した。

「シノ、修繕工事が奥野

工業、橋面防水工は年度内発注を予定する。

3工区の工事費が合計

1億4416万9200円(税込、契約時)

で、工期が3月25日。

は前年比92・4%と再

び前年を下回った。販売

額が367・0万円

で5ヶ月連續で前年を下

回り、輸出は78・8万円

と2ヶ月連續で前年を上

回った。在庫は420・3万トンで、前年比100・5%となつた。

復興事業が進む東北地

域のみ前年比プラスで、

他地域はすべて前年比下回り、昨年からの反動

回り、輸出は78・8万円

と2ヶ月連續で前年を上

回った。在庫は420・3万トンで、前年比100・5%となつた。

復興事業が進む東北地

域のみ前年比プラスで、</